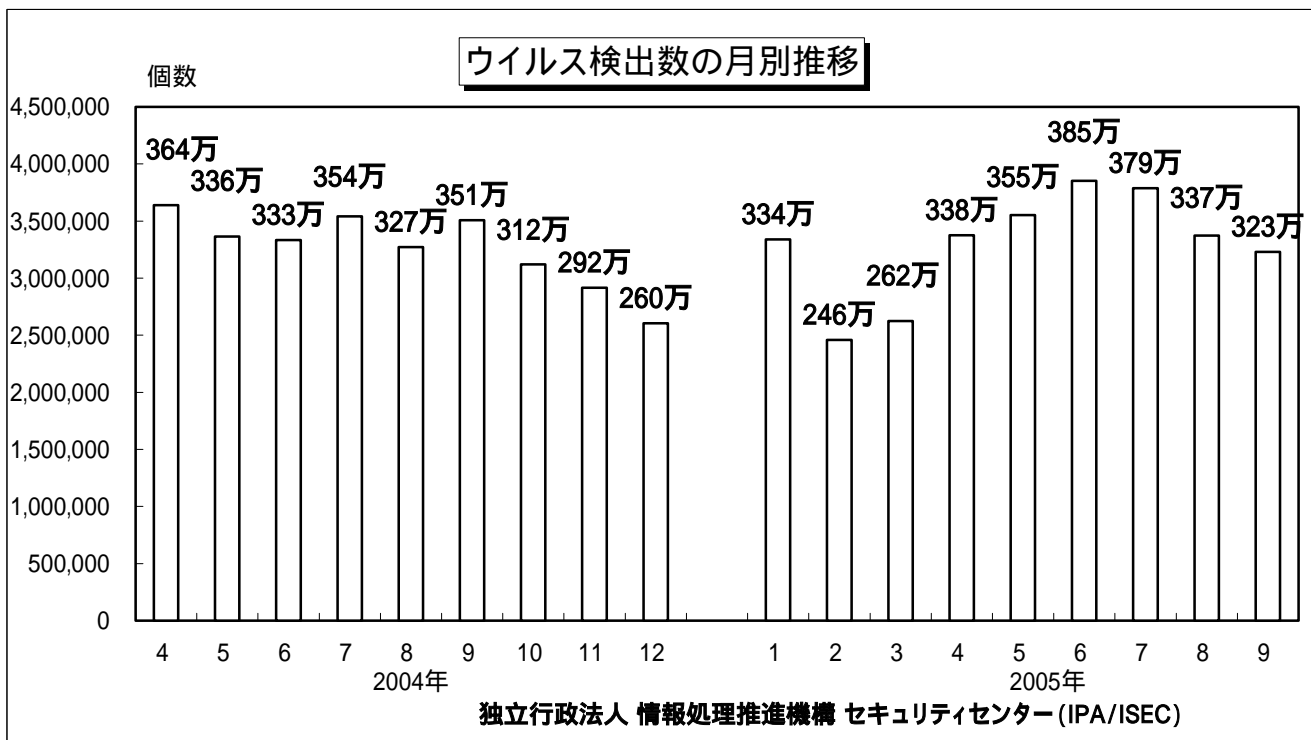


## コンピュータウイルスの届出状況 [2005年9月分] について

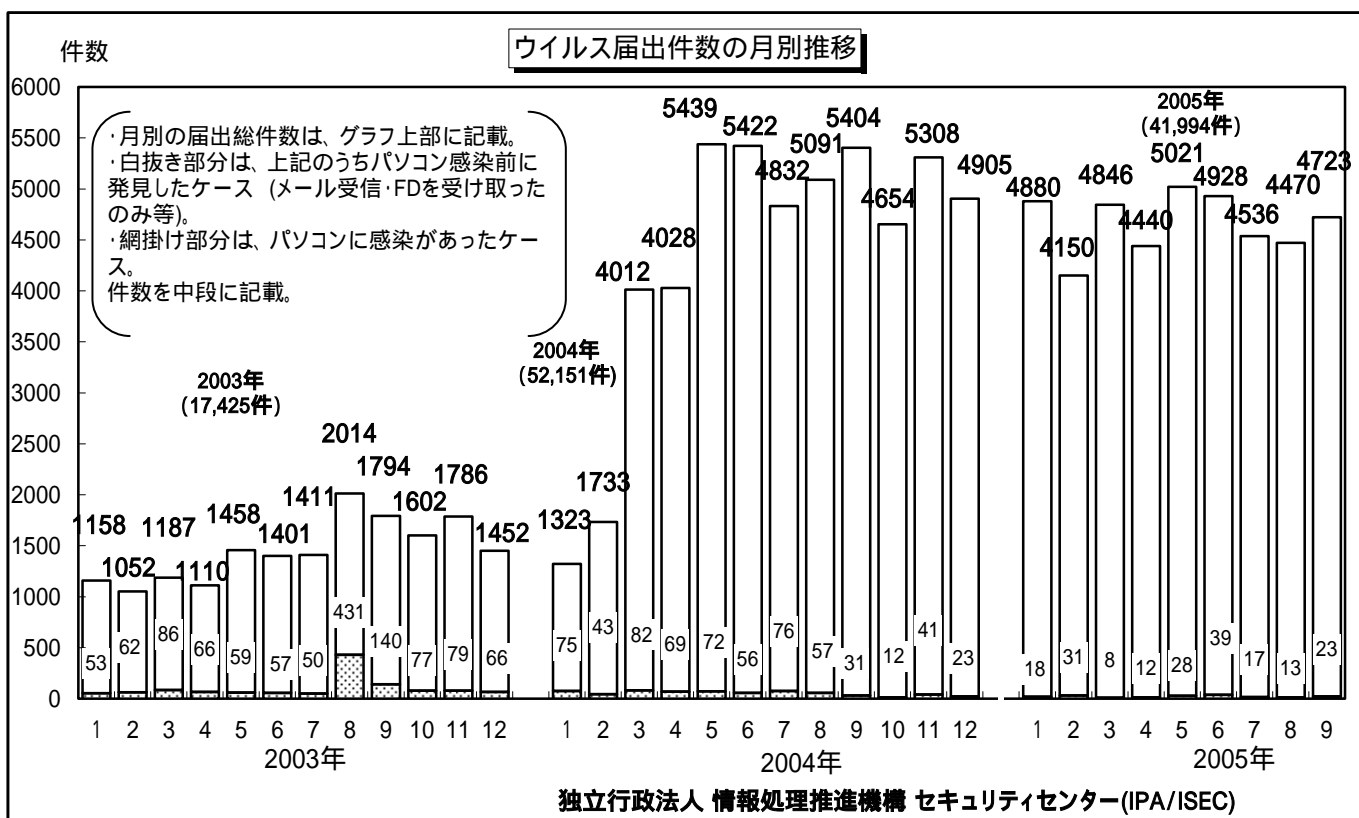
### ・ウイルス届出の詳細

#### 1. ウイルス検出数の月別推移

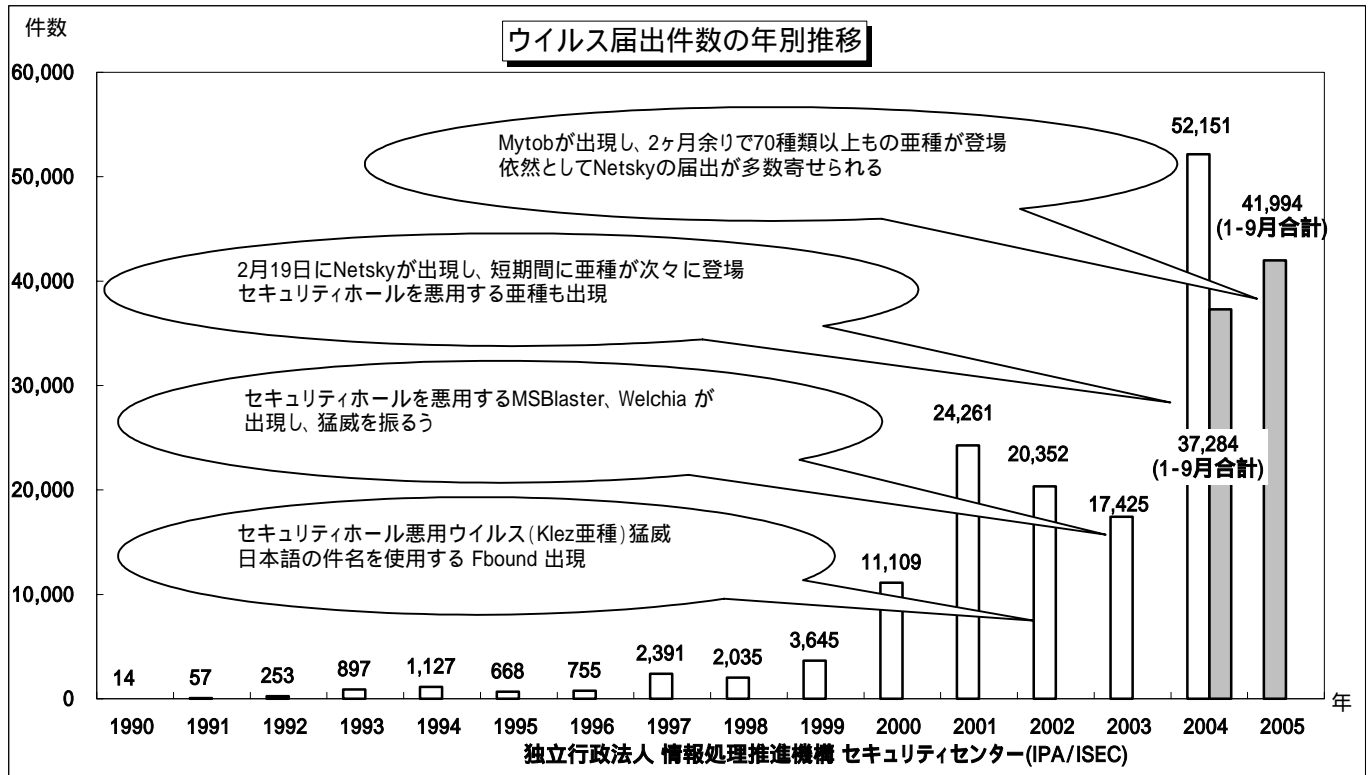


検出数は 2004 年 4 月より集計を開始

#### 2. ウイルス届出件数の月別推移



### 3. ウイルス届出件数の年別推移



#### 4. 9月の届出ウイルス

ウイルスの種類は 89 種類で、Windows/DOS ウィルス 4,608 件、マクロウイルス及びスクリプトウイルス 115 件でした。(Macintosh 及び OSS のウイルスはありませんでした。)

##### i) Windows

( )印は今月の新種ウイルス

Windows/DOS ウィルス	届出件数	Windows/DOS ウィルス	届出件数
W32/Netsky	1,057	W32/CIH	1
W32/Mytob	634	W32/Evaman	1
W32/Mydoom	379	W32/Explet	1
W32/Bagle	328	W32/Kipsis ( )	1
W32/Lovgate	242	W32/Lovelorn	1
W32/Klez	210	W32/Magflag ( )	1
W32/Zafi	173	W32/Nofer	1
W32/Bagz	159	W32/Oror	1
W32/Bugbear	131	W32/Plexus	1
W32/Funlove	99	W32/Raleka ( )	1
W32/Fizzer	94	W32/Rants	1
W32/Reagle	84	W32/Remadm	1
W32/Mabutu	83	W32/Ska	1
W32/Mimail	79	W32/Sober	1
W32/Mywife	77	W32/SQLSlammer	1
W32/Bobax	73	小計	4,608
W32/Parite	68		
W32/Mota	67		
W32/Swen	58	マクロウイルス	届出件数
W32/Valla	54	XM/Laroux	9
W32/Yaha	44	XF/Sic	5
W32/Dumaru	43	X97M/Divi	3
W32/Gaobot	40	WM/Cap	2
W32/Zotob	31	X97M/Barisada	2
W32/Randex	25	X97M/Sarsnan	2
W32/Spaces	23	W97M/Thus	1
W32/Tenga	22	W97M/X97M/P97M/Tristate	1
W32/Maslan	21	小計	25
W32/Nimda	17		
W32/Tenrobot	16	スクリプトウイルス	届出件数
W32/Badtrans	14	VBS/Redlof	58
W32/Mumu	14	VBS/LOVELETTER	9
W32/Welchia	14	Wscript/Kakworm	7
W32/Sobig	13	VBS/Soraci	6
W32/Wurmark	13	VBS/Freelink	4
W32/Hybris	12	VBS/Gedza	2
W32/Kriz	12	VBS/Haptime	1
W32/MSBlaster	11	VBS/Internal	1
W32/Ganda	9	VBS/Netlog	1
W32/Magistr	7	VBS/SST	1
W32/Antinny	5	小計	90
W32/Kebede	5		
W32/Chir	4	ii) Macintosh	
W32/Esbot	4	なし	
W32/MTX	3	iii) OSS ( OpenSourceSoftware ) UNIX	
W32/Torvil	3	なし	
W32/Yami ( )	3		
Cascade	2	(参考)	
Form	2	Windows/DOS ウィルス	
Stoned	2	Windows、MS-DOS 環境下で動作するウイルス。	
W32/Inor	2	マクロウイルス	
W32/Korgo	2	MS-WORD や MS-EXCEL などのマクロ機能を	
W32/Traxg	2	悪用するウイルス。	
W32/Wukill	2	スクリプトウイルス	
Anti-CMOS	1	機械語への変換作業を省略して実行できるよ	
W32/Aliz	1	うにした簡易プログラムで記述されたウイルス。	

備考：件数には亜種の届出を含む

注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	MSEXCEL95、97 (ExcelMacro の略)
WM	MSWORD95、97 (WordMacro の略)
W97M	MSWORD97 (Word97Macro の略)
X97M	MSEXCEL97 (Excel97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)
XF	MSEXCEL95、97 で動作するウイルス。(ExcelFormula の略)
Linux	Linux 環境下で動作
FreeBSD	FreeBSD 環境下で動作
Perl	Perl で記述

## 5. 9月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

### (1) W32/Yami (ヤミ)

このウイルスは、Windows XP 環境で動作します。

感染すると、拡張子が「.exe」のファイルに自分自身を追記することで感染を拡大します。また、パソコンを起動できなくする機能を有しています。

### (2) W32/Kipis (キピス)

このウイルスは、アドレス帳などから取得できたメールアドレスに対して、ウイルス自身を添付したメールを送信し、感染を拡大します。

ウイルスファイルを実行して感染すると、自分自身のコピーをパソコン内に作成します。また、システムファイル(system.ini)を改変することにより、パソコン起動時にウイルスが実行されるようにします。さらに、バックドアを開いたり、セキュリティ対策ソフトのプロセスを停止したりします。

### (3) W32/Magflag (マグフラッグ)

このウイルスは、アドレス帳などから取得できたメールアドレスに対して、ウイルス自身を添付したメールを送信し、感染を拡大します。

ウイルスファイルを実行して感染すると、自分自身のコピーをパソコン内に作成します。また、レジストリを改変することにより、パソコン起動時にウイルスが実行されるようにします。さらに、特定のサイトからファイルのダウンロードを試み、成功するとそのファイルを実行します。

### (4) W32/Raleka (ラレカ)

このウイルスは、Windows のセキュリティホールを悪用し、ネットワーク上のパソコンに対して感染を拡大する活動を行います。

感染すると、自分自身のコピーをパソコン内に作成します。また、レジストリを改変することにより、パソコン起動時にウイルスが実行されるようにします。さらに、ボットとしての機能を有しており、特定の IRC サーバに接続し、サーバからの指令を待ち受けるようになります。

## 6. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約91%を占めています。

届出者	届出件数					
	2005年9月		2005年8月(前月)		2004年9月(前年同月)	
一般法人ユーザ	4,310	91.3%	4,052	90.6%	4,783	88.5%
個人ユーザ	118	2.5%	107	2.4%	239	4.4%
教育機関	295	6.2%	311	7.0%	382	7.1%
合計	4,723		4,470		5,404	

## 7. 感染経路別件数

メールにより感染したケースが最も多く、届出件数の約96%を占めています。

感染経路	届出件数					
	2005年9月		2005年8月(前月)		2004年9月(前年同月)	
メール	4,524	95.8%	4,290	96.0%	5,291	97.9%
ダウンロード( )	0	0.0%	4	0.1%	4	0.1%
外部からの媒体	0	0.0%	1	0.0%	13	0.2%
ネットワーク	187	4.0%	171	3.8%	93	1.7%
不明・その他	12	0.3%	4	0.1%	3	0.1%
合計	4,723		4,470		5,404	

( )ホームページからの感染を含む

## 8. 感染台数

感染台数	届出件数					
	2005年9月		2005年8月(前月)		2004年9月(前年同月)	
0台	4,700	99.5%	4,457	99.7%	5,373	99.4%
1台	19	0.4%	12	0.3%	21	0.4%
2台以上 5台未満	2	0.0%	1	0.0%	4	0.1%
5台以上 10台未満	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
10台以上 20台未満	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
20台以上 50台未満	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
50台以上	1	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
合計	4,723		4,470		5,404	

### ・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であって、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

#### コンピュータウイルス対策基準

- ・通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

### お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター  
花村 / 加賀谷 / 内山

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp